

## 臨床腫瘍科

久田原郁夫

臨床腫瘍科は、腫瘍内科、腫瘍外科、緩和ケア内科の3科の総合科となっています。所属する医師は、緩和ケア内科を除いてすべて兼任で各々の専門領域の化学療法を中心に診療をおこなっています。緩和ケア内科は「がんサポートチーム」として主に入院患者さんを対象に疼痛管理や心理面でのサポートをおこなっています。年間の介入件数は300件以上におよび院内でのニーズの高さをあらわしています。

毎週開催している臨床腫瘍科カンファレンスでは、外来化学療法室で発生した事象の分析、検討および新規の症例検討をおこなっています。定期的行事として、Cancer Board、がん薬物療法委員会は毎月、当科が主体でおこなっています。また、がん診療に関連する様々なテーマでオンコロジーセミナーを全職員対象に年4回講堂で開催しております。これらの行事はがんの診断、治療に関して総合的かつ横断的に討論し知識を深めるよい機会となっています。オンコロジーセミナーとは別にがんサポートチームセミナーとして年6回開催されています。

がんの種類は多彩でその臨床像もさまざまです。また、新規の抗がん剤、分子標的薬が続々と発売され国内外で多くの臨床試験がおこなわれ治療方法も選択肢が広がってきています。各種の画像診断、病理診断および分子生物学的診断も日々進歩をとげています。このような環境で、診断、治療において主科のみならず個別的でかつ総合的な判断が求められる機会が増えてきています。またがん治療に特化した看護師、薬剤師が積極的に介入することで患者さんは多くの恩恵を受けています。このように今や、がん治療はチーム医療が基本となっておりますが、臨床腫瘍科はその司令塔の役目を担っていきたいと考えています。

### 【2014年度研究発表業績】

A-0

Tomonaga M, Kudawara I. : Ossifying chondrolipoma of the thigh:radiologic pathologic correlation. Current Orthopedic Practice 25:493-496,2014

Ieguchi M , Hoshi M , Aono M , Takada J , Ohebisu N , Kudawara I. , Nakamura H.:Knee Reconstruction with Endoprosthesis after Extra-articular and Intra-articular Resection of Osteosarcoma.Jpn JClin Oncol 44:812-817, 2014.

Hasegawa H. , Fujitani K, Nakazuru S, Hirao M, Mita E, Tsujinaka T. :Optimal Treatment Change

Criteria for Advanced Gastric Cancer with Non-measurable Peritoneal Metastasis:symptom/tumormarker-based or CT-based.Anticancer Res 34 (9) 5169-5174, 2014

A-2

吉川秀樹、田中壽監訳 久田原郁夫 他 訳 :骨軟部病変の画像診断 (原著第1版) 南江堂 2014年

A-4

小河原光正 : ピットフォール porous diaphragm syndrome. 「呼吸」34 (2) : P192-198, 2015年2月.

B-2

Kakunaga S, Nakai T, Hamada K, Naka N, Kudawara I, Ueda T, Aoki Y, Yoshikawa H.:Clinical outcome of low-grade central osteosarcoma: a single institutional experience. 10<sup>th</sup>. Connective Tissue Oncology Society Annual Meeting, Berlin 2014年10月

Imajima Y, Kakunaga S, Kitano M, Kudawara I, Ueda T:The efficacy of the penumbra sign for differentiating osteomyelitis from bone tumor in children10<sup>th</sup>. Combined Congress of Spine & Pediatric Orthopedic Sections, Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA), Pattaya, 2014年10月

Tada Y, Kakunaga S, Mizuno K,Ikeda H, Inoue N, Kudawara I, Ueda T:Clinical Feature and Prognosis of Primary Malignant Lymphoma of Bone: A Single-Institutional Experience from Japan10<sup>th</sup>. Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society Meeting, Melbourne, 2014年10月

Nakai T, Kakunaga S, Hamada K, Naka N, Kudawara I, Aoki Y, Ueda T, Yoshikawa H. Clinical outcome of Low-grade central osteosarcoma:A single institutional experience 10<sup>th</sup>. Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society Meeting, Melbourne, 2014年10月

Hasegawa H. Optimal indications for palliative chemotherapy in elderly patients with metastatic or recurrent gastric cancer. American society of clinical oncology Gastrointestinal Cancers Symposium 2015, San Francisco, USA, 2015年1月

B-4

多田雄真、小河原光正、長谷川裕子、久田原郁夫：単施設における原発不明がんの後方視的検討。第12回 日本臨床腫瘍学会学術集会、福岡市、平成26年7月

中井隆彰、角永茂樹、久田原郁夫、上田孝文、濱田 健一郎、中 紀文、吉川秀樹、青木康彰：当院における low-grade central osteosarcoma の治療成績。第47回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会、大阪、平成26年7月

濱田 健一郎、中 紀文、王谷英達、竹中 聡、吉川秀樹、大島和也、荒木信人、倉都滋之、藤本哲穂、外堀 司、森 茂樹、角永茂樹、久田原郁夫、上田孝文、小島 秀人、青木康彰：12歳以下に生じた四肢原発骨肉腫の長期成績。第47回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会、大阪、平成26年7月

王谷英達、濱田 健一郎、中 紀文、竹中 聡、名井 陽、吉川秀樹、山田修太郎、大島和也、城山 晋、外堀 司、荒木信人、角永茂樹、久田原郁夫、上田孝文：手原発軟部腫瘍の治療成績。第47回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会、大阪、平成26年7月

高見康二、大宮英泰、小河原光正、栗山啓子、真能正幸、中森正二、関本貢嗣：肺癌手術における肺切除マージン洗浄細胞診に関する検討第55回日本肺癌学会総会、京都、2014年11月。

長谷川裕子、吉田元樹、平良高一、杉本直俊、紀 貴之、武田晃司、吉波哲大、坂井大介、佐藤太郎、古河 洋：A phase II study of Pmab+IRI for mCRC pts with wildKRAS, resistant to fluoropyrimidine, oxaliplatin and IRI (OGSG1001)。第12回日本臨床腫瘍学会、福岡、2014年7月

吉田 元樹、平良 高一、杉本 直俊、徳永 行彦、畑 泰司、三宅 泰裕、福永睦、長谷川裕子、紀 貴之、加藤 健志、武田 晃司、吉波 哲大、駄賀 晴子、坂井 大介、古河 洋：FU,IRI,OX 不応 KRAS 野生型 mCRC に対する IRI+Panitumumab 療法の日本人データ。第52回日本癌治療学会、横浜、2014年8月

杉本 彩、長谷川裕子、福富 啓祐、木村 圭一、日比野賢嗣、岩崎 哲也、岩崎竜

一朗、榊原 祐子、山田 拓哉、中水流正一、石田 永、平尾 素宏、三田 英治：  
高齢者切除不能進行・再発胃癌に対する化学療法における予後因子解析。第 52 回日本  
癌治療学会、横浜、2014 年 8 月

青野奈々、里見絵理子、和田知未、上田純子、尾池真理、齊藤明音、井出恭子、道川綾  
加、田中景子、廣常秀人：がん終末期におけるステロイドパルス療法施行の実態。第 19  
回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2014 年 6 月

多田 雄真、里見 絵理子、青野 奈々、長谷川 裕子、小河原 光正、久田原 郁夫：不眠を  
訴え宗教的背景のため長期高度貧血状態で経過した多発性骨髄腫における restless legs  
syndrome の一例。第 19 回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2014 年 6 月

#### B-6

久田原郁夫：腸骨発生の胞巣状軟部肉腫。第 75 回 関西 SKR 勉強会、大阪、2014 年 6  
月

久田原郁夫：肋骨発生の骨巨細胞腫。第 76 回 関西 SKR 勉強会、大阪、2014 年 9 月

久田原郁夫：胸椎腫瘍の 1 例 第 77 回 関西 SKR 勉強会、大阪、2014 年 11 月

大澤 薫代、久田原郁夫、角永茂樹、上田孝文：再発胸壁軟部腫瘍の 1 例。第 15 回近  
畿骨軟部症例検討会、大阪、2014 年 10 月

久田原郁夫：小児大腿軟部腫瘍の 1 例。第 15 回近畿骨軟部症例検討会、大阪、2014  
年 10 月

久田原郁夫：大腿骨膜性 Ewing 腫瘍に対する術中体外照射自家骨移植術後の治療経過。  
第 15 回近畿骨軟部症例検討会、大阪、2014 年 10 月

久田原郁夫：甲状腺がん上腕骨遠位部転移に対するプレート固定後の人工関節置換術。  
第 15 回近畿骨軟部症例検討会、大阪、2014 年 10 月

久田原郁夫、角永茂樹、上田孝文：後腹膜脂肪肉腫の 1 例。第 140 回関西骨軟部腫

瘍研究会、大阪、2015年2月

久田原郁夫：左鎖骨骨腫瘍。 第78回関西SKR勉強会、大阪、2015年3月

多田 雄真, 池田 弘和, 水野 香織, 井上 信正. 末梢性 T 細胞リンパ腫の初回化学療法後経過観察中の PET-CT にて消化管病変が疑われた一例。第48回 北摂血液疾患談話会、大阪、 2014年11月

B-8

青野奈々：「緩和ケア研修会の開催にあたって」「オピオイドを開始するとき」。平成26年度国立病院機構大阪医療センターがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2014年11月

青野奈々：「呼吸困難」、平成26年度愛仁会高槻病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2015年2月